

経営比較分析表（令和2年度決算）

千葉県 九十九里町

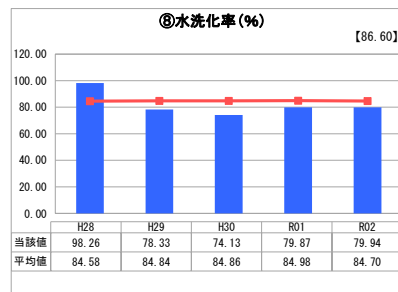
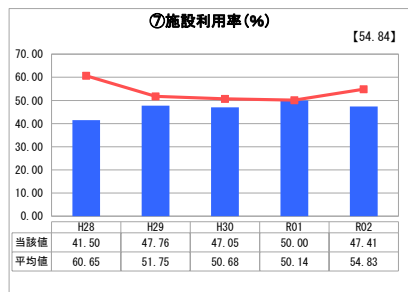
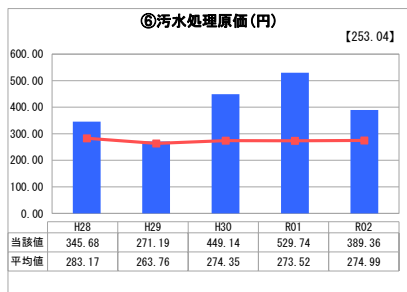
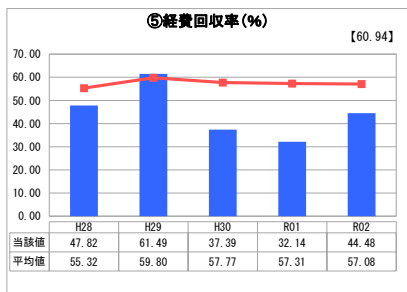
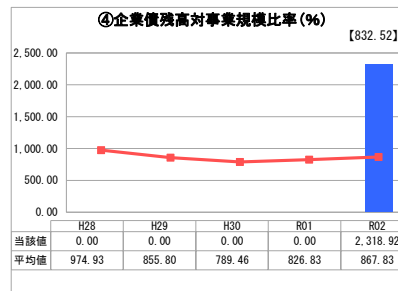
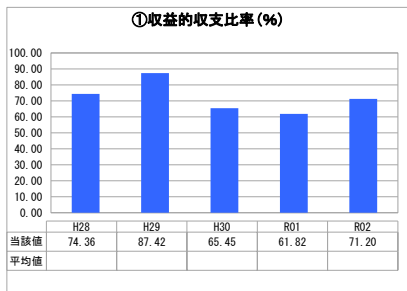
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	15.93	86.50	3,190

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
15,336	24.46	626.98
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,428	1.15	2,111.30

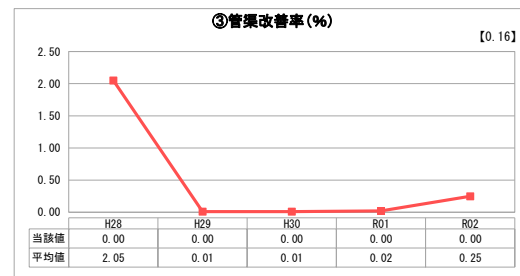
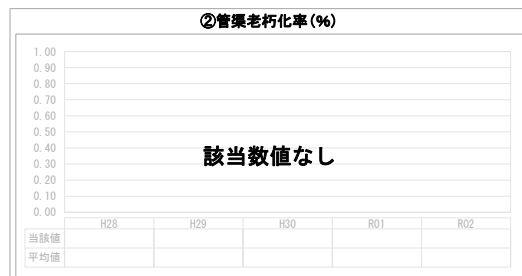
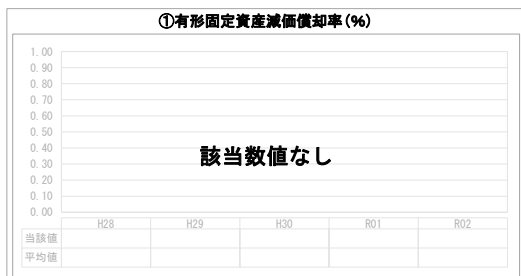
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経費回収率は収益的収支比率と同様に平成30年度から令和元年度は下落傾向だったが、令和2年度は上昇した。今後も引き続き経費の増加に対し収入が増加しておらず、収入の確保に努め、今後増加が想定される修繕費については、計画的に修繕を実施し費用を抑えることが必要と考える。

汚水処理原価は修繕費・委託費用等が増加していたが、使用料の見直しを図ったことにより改善傾向がみられた。今後も施設の老朽化が進むため、修繕費のさらなる増加も考慮する必要があると思われる。

施設利用率は接続戸数、1世帯当たりの水使用量共に減少しており、これは人口減少及び節水型機器の普及等と考えられる。地域の実情に合わせ、規模等を検討していくことも必要と考えられる。

2. 老朽化の状況について

供用開始より年数が経過しており、機械類の老朽化が進行している。管渠については、現状維持が続いているが、更新計画を作成し老朽化への対策を進めていく必要がある。

設備更新が必要な時期を迎えるため、更新計画を策定し施設の老朽化対策を講じる必要がある。

3処理場中1ヶ所については、令和4年に大規模改修が完了する予定。

また、もう1ヶ所も大規模改修工事に向け計画を策定する予定。

全体総括

支出は増加傾向にあり、収入は使用料の改定に伴い微増している。

長期的な事業運営の実施のため、令和3年度より公会計制度を導入し、財政の透明化・効率化・適正化を進め、また設備の劣化状況の把握・設備投資計画を作成する等、経費を削減する方法を様々な観点から模索していく予定。

接続率向上のため促進活動を継続して実施し、処理施設を最大限に活用できるように使用率を向上させ、増収を目指し設備等の更新に対応できるように計画していく。

人口が減少傾向にあることから大幅な収入増は見込めない状況であると考えられる。今後の更新時等に地区の実情に合わせた設備のスペックを検討し経費の削減や、使用料の見直しについての検討が必要と考える。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。